

# o dai

## magazine



#21

# TRIMMING



KURIHARA OSAMU

## おだいにまつわるエトセトラ

小台という場所の断片的なイメージから小台をイメージするためのコーナーです

グーグルマップを見ながら、次の週末の行き先を決めることができます。

たいてい行ったことのない場所を目指します。

行ったことがない場所ですので、何があるのか見当がつかないので、直前に出発を取りやめることが結構あります。

なにせ、訪れて面白いのか、わからないのです。

そして、案外出不精なのです。高確率で直前に面倒臭くなります。

小台という場所に、先日訪れました。

地図を眺めていたら、胃袋をひっくり返したような地形が面白そうで。

あと、行ってみたいコーヒー屋さんがあったから。

直前の取りやめもなく、無事に出発することができました。

ところで。みなさま自転車に乗ることはありますか？

私はあります。それじゃあ、自転車で 25Km を 5 時間かけて走るはどうなるか、みなさまご存知ですか？ そう。お尻が痛くなるんです。

ちょうどお尻が痛くなった頃。小台に着きました。

工場と住宅が立ち並ぶ、なんてことはない場所なんですが。

それでも、ちょっと変な感じというか。違和感というか、感じるんですよね。

ちょっと、この世の感じがしないっぽさが、あるんですよね。

なんなんですかね。その感覚の本質を考えるのがちょっと面倒臭かったので、そそくさとお目当のコーヒー屋さんに向かいましたよね。

そのコーヒー屋さん。私個人的には、とても面白かったんですよね。

なぜかって、素敵でおしゃれ感のあるお店なのですけど、

いわゆる表参道とか、そういう場所のカフェの非日常感とかあまりなくて。

宿題に励む女子高生とか。汗拭きながらアイスコーヒーする主婦の方とか。

もちろん、Mac で仕事している方もいて、ちょっとそれっぽい感じもするんですけど、なんというか、ちょっと独特なんですね。これじゃ、伝わらないですね。

でも、きっとこれが、小台感なんでしょうね。お代官じゃないですよ。

どうでもいいですよね。

そんなことを考えながら、アイスコーヒーを一杯頂いて、

またそそくさと、自転車に跨って、小台の地を後にしましたよね。

隅田川沿いの道を走りながら、振り返って見たんですけどね。

ちょうど、小台のある場所の上空だけに、ちょっと霞がかかっていたんですよね。

なんなんでしょうね、あれは。

ちょっと消化不良だったので、また橋と小台とコーヒー屋さんを目指して、

週末にお尻を痛めようと思います。

## 楽しい夕食作り

山本 千晶

日々の生活に追われながら、アイデアを生み出すには、少しの心の余裕が必要だ。少しの心の余裕があるからこそ、電車の中や通勤路、お昼休憩の河原のベンチなど普段の生活の中で見聞きした事象や言葉を素直に吸収することができること、吸収したものから新しいアイデアがねるりと出でてくる。

そして、夕食作りをリフレッシュの時間にするために欠かせないものが2つある。それは音楽とビールだ。

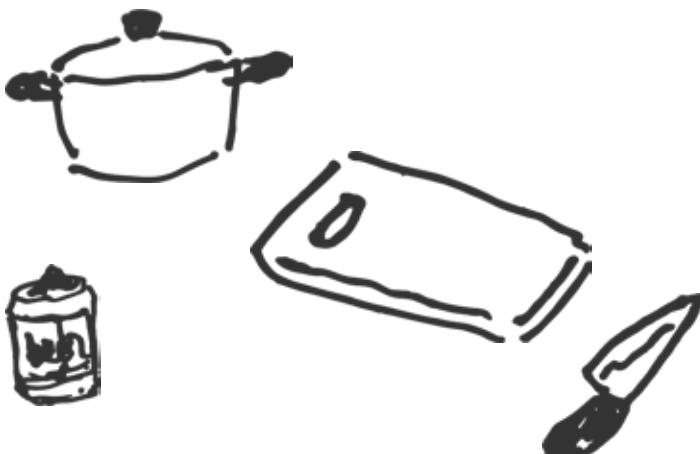
好きな音楽を聴きながらのりのりで夕食を作る。その時周りに人がいない方が良い。

音楽はその時、はまっているものをかけるため、何をかけるか具体的には決まっていない。サブスクライブションサービスを使ってランダムにプレイリストを再生しながら新しい好みの音楽を

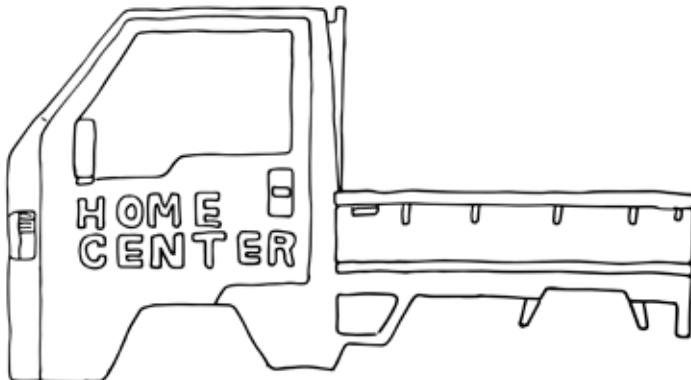
探したりもするし、もってているCDをかけたりもする。機嫌の良い時は煮込みをしている傍ら、食器を洗いながら歌ったりする。機嫌が良いから新しい声の出し方を発見できたりする。

ビールは必ず350mlを1缶と決めている。料理中に気分が良くなりすぎると、包丁で指を切ったり、火事になるなど危険が伴う。また、2缶以上飲んだ時には雑な料理が出来上がってしまうことが何度かあり、2本目に突入するのは我慢するようにした。貴重な1缶のビールを開けるタイミングはいつも決まっている。食材を冷蔵庫から出し、およそ使う調理器具を揃えた後。料理を始める合図かのようにタブを起こす。ブシュツという音が堪らなく、開放的な気持ちになる。

しかし、忙しすぎる時はそもそも夕食作りができない、心に余裕が持てない。忙しすぎても心の余裕を作り出せるようになりたいのだが、方法はまだ模索中だ。



# Always fresh life hack !!!



(前回の続き) ペーパードライバーが自動

車の運転の練習をする時に、どのような方法があるか。①車を購入して練習する。②友人が所有する車を借りて練習する。③レンタカーを借りて練習する。これ以外に解がある、ということをお伝えします。

ホームセンターは好きですか。私は好きです。ホームセンターで大きな物を買ったことはありますか。私は大きな物を買ったことがあります。ホームセンターで大きい物を買うと、軽トラックを借りることができるのです。サービスカウンターの後ろに踊る「軽トラック無料貸し出し」の文字を見たことがある人もいるかと思います。60分だったり90分だつたりしますが、借りられます、無料で。軽トラックはマニユアル車なんぢやないか?と心配する方もいるかも知れませんが、大丈夫です。オートマ車です。でかい物を買えば、車が運転できる!と気付いてから幾星霜。引越して長い物干し竿が必要になりました。トラックの運転手をしている友人に同乗してもらうために、スケジュールを調整した。

機は熟した。いざ。

ねらいを定めていた、電車で5駅ほどのほどよい距離のホームセンターへ向かう。2メートル超の物干し竿が498円。電車で運ぶには少し厳しいサイズ。このような小額の買い物でも、サービスカウンターからのOKは出るのだろうか。買った物干し竿とレシートを見せると、OKができる。同意書に必要事項を記入、免許証を見せる、などの手続きを終えて、ライドオン。行つた。戻つた。

60分弱のドライブを終えて自信がついた数カ月後。今度は細長くカットされた木材を積み込み、1人でドライブ。あれ、なんかドキドキするぞ。もし事故でも起こしたら、どうなるのかな?保険に加入していないから、けつこう大変なことになるな。それに、電車で人力運搬するには大きいものをホームセンターで買う機会もそんなにあるわけではありません。2回でやめました。

週末トラストレーク



### 第3回「山、海」

祖父母の家は山と海の間にある。

低い山の斜面に建った家の二階からは、地平線が見える。天気の良い人は窓を開けて、山と海の混ざった匂いを感じて昼寝をする。

日が差してから部屋の真ん中に移動して、山鳥やカモメの鳴き声を聴きながら仰向けになつて窓枠を目線でなぞつたり、電線にとまるツバメたちを眺めたりする。

そういう時はとりとめのない事をぼんやり考へるでもなく考へる。脳がニコートラルな状態だ。自分の意思なのか無意識なのかわからぬいくらい自然な状態で、まるで夢を見ているように考へが巡つていく。

小さい頃よく遊びに来たこの家の主、つまり祖父は数年前に他界した。木材を取り扱い、欄間の彫刻や障子張りまで様々行つたらしい。らし

いというのは、仕事をしていいた所を見た事がなかつたし、当時は興味もなかつたからだ。私は職人としての祖父を知らない。今となつては見ておけば良かつたと思うし、工場は子どもには危険なので近づけなかつたというのもあったかもしれない。祖父は指が一本無かつたし。

父方の実家であったこの家へは、小学生の頃からよく来ていた。8歳の時に一人見送られ、今は引退した寝台列車に乗つた事をよく覚えている。母方の実家には距離的に車で行きやすかつたけど、この家には鉄道の方が都合が良く、私含め姉弟達が大きくなるにつれ、子どもだけで遊びに行くようになつていった。

成人を迎える前後には足も遠のき、敬老の日などの機会に電話をするくらいの距離感になつていった。

ある時、私が進路に悩んでいる事を話した時、祖父はこういった。「どんな道を選んでも、後悔だけはするな」それから数年後、祖父は他界した。美術学校を出たのにフリーランスで良いのか、やりたい事とできる事、鬱蒼とした気持ちを抱え

ていた。

遺骨を骨壺に収める時、何かにあやかりたかったのか、指の骨を選んで収めた。

祖父の遺言は灯火となり私の心のもやを打ち払い、今も灯台として道するべとなつていて。祖父から私への一番大きな贈り物のように思う。

夏休みといえば両親の実家。

父の実家といえば山と海。

使われなくなつた工場に住み着いたツバメ。

それを呼ぶ祖父の声。山の木々のゆれる音。地平線に沈む真っ赤な夕日。

これらも祖父のくれた宝物のひとつなのかもしない。



足立区小台とはどくに関わりのない十月の俳句

中村 安伸

## 人形のだれにも抱かれ草の花

句の構造としては「人形のだれにも抱かれ」と「草の花」という、二つの独立した内容を取り合わせて一句とした二物配合の句というふうになる。

人形には意思がないので、人に抱かれるのを拒むことができない。

意思を表現する術がないだけで、実は嫌がっているのかもしれないのであるが。

また「だれにも抱かれ」という表現をある種の人の方の比喩としてとらえることも可能であり、そのような連想から来るなまめかしく退廃的なイメージと「草の花」の素朴さを、対照的な二物としてとりあわせた句と読むことができるだろう。

「草の花」は秋の季語である。「雑草」という名の草はない。どの草にも名がある」というのは昭和天皇の発した言葉とされているが、実際には定かではないようだ。秋の野に咲く、名前のわからない草の花のことをこのように呼ぶのであるが、草にとつてはその生のハイライトであるはずの開花の時にさえ、その名を知ろうという興味すら持つてもらえないものである。

子供達の気分しだいで愛されたり放つておかれたりする人形と、せいいっぱいつけた花を人に愛でられることもなく、踏みつけにされるだけの草。ありふれた、目立たない、決して声をあげることのない存在であるからこそ、ひとつ作品として昇華されたときには、よりいつそうの輝きを帯びることができる。

ところで、この句の音韻に注目してみると中七の「だれ」と「だかれ」が変化をともなうリフレインになっている。そして、リズムの面からは下五の「草の花」が八分音符が五つ並んだリズムであるのに対し、上五の「人形の」は四分音符二つと八分音符一つになつており、変化がつけられている。こうした工夫もまた、この句が多くの人々に愛誦されている理由のひとつだろう。

しかし、実際に「だれにも抱かれ」る人形というものを想像してみるとどうだろうか。個人が大切に所有している人形の場合、持ち主の意志が働いて「だれにも抱かれ」ということにはならないし、ケースに入つて展示されているようなものは当然人の手に触れられることはない。

私は、たとえば病院や幼稚園などに、多くの子供達の共通の遊び相手となるべく置かれている、薄汚れた人形などを想起する。

※作者は大木あまり（1941年6月1日）

# THE LINE 横幅（監）

## それぞれの役割 「船、山にのぼる」を見て

「船、山にのぼる」（監督：本田孝義）は、横浜を拠点に活動する PH スタジオというアーティストユニットが、広島県北東部の灰塙地域で行った「船をつくる話」というアートプロジェクトを記録したドキュメンタリー映画である。灰塙地域にダムを建設することが決まり地域住民の移転が進む1994年から、PHスタジオは同地でこのプロジェクトを行った。その主な構想は、ダム工事に伴って伐採される大量の木材を使用して、これからダムの水が入る場所にあらかじめ巨大な（全長60m）船をつくり、それをダムに入る水を利用して山の上まで移動し、伐採された木々も住民と同じように引っ越しさせようというものだった。また、そのプロジェクトの過程を＜話＞として提示するというものだった。

映画「船、山にのぼる」では、この PH スタジオの活動に触発された格好で、ある住民を中心に同地に何百年も生えていた「えみき」という古木をその後住民が暮らすことになる地域に植え替えようという活動が起こり、その様子も記録している。もちろん「えみき」の植え替えは建設業者が重機で行うのだが、この植え替えは村の一大イベントになり、元の場所から抜かれた「えみき」を載せたトラックに結んだ綱を住民のみんなで引っ張ったり、植え替えを行った「えみき」に土をかぶせたりするという行事もあり、この映画にはその様子も記録されている。

この「えみき」の植え替えと PH スタジオの船の移動は、どちらも物質的な移動を行うものではあるが、それが何かの役に立つというよりは、関わる人の気持ちに働きかけるという意味を持っていた。ただ、住民の関心は「えみき」の植え替えの方により強く、それによって生じる気持ちの変化にもよりリアリティを持っているようだった。PH スタジオのプロジェクトはシンプルで実拍予もなく、それを聞いた者の想像を掻き立てる魅力的なものではあるが、はたして地域住民がその船を見て、過去の暮らしの何を思い出すのだろうかという疑問もある。住民は過去の村の様子を体温として記憶しており、すでに始まっている新しい生活で触れる出来事の一つ一つをそれと比較し続けているのではないだろうか。そういった状況で、突然現れた船が果たせる役割とは何だろうか。

以前、群馬県の中之条町で行われている「中之条ビエンナーレ」に作家として参加した際に、地域の人から「自分はこの土地を離れない」と言われたことがある。その時は「時間が人と場所を分ち難くするのなら、それはどのくらいの長さだらう」と思ったが、少なくとも一時的にしかそこに滞在するつもりのない自分と、そこを自分の場所だと思っている人との大きな隔たりのようなものは感じた。自分の考えているアイデアは彼らの思考に染みていくことなく、その上を流れていってしまうような気がして、虚しさの中で焦りを覚えた。よそ者の発想は時として当事者に示唆を与える可能性があり、当事者はいい形でそれが訪れるることを望んでいる。よって、それと引き換えに「機会」が提供されるが、それは本来アーティストが望むべきものとは異なり、彼らは同じ時間と場所を一時的に共有しているように見えて、実は行き違い続けているのかもしれない。灰塚はどうだったのか。失われた村から運び出された船や木がその後どうなったのか見てみたい。利害の一一致とは異なる地域とアーティストの交わりがそこに生まれていることを期待して。（齊藤）

—アーティスト・フランセ文化センターHP 佐藤真講演 [特集 小川紳介と土本典昭] より  
援農というのがありますけれど、三里塚では、学生が農民を支援する形で援農していた。映画班が撮影対象に、まあ言つてみれば、深い人間関係を作るために農業を手伝っていた。私たちも新潟で村に入るための方便として村の田んぼを手伝うことからスタートした。映画班が撮影対象に、まあ言つてみれば、深い人間関係を作るために農業を手伝つて、農民の姿、顔が見えなくなってくる。映画を撮る人間はいかに手伝つても、額に汗しながら働いている人間にいかに痛烈な批判を浴びせられても、こんなに私が苦しんでるのに手伝つてくれないのか、お前は人でないだという風な眼差しで射るようになつめられても、やはりそれを手伝つてはいけない。それが映画を撮る側というか、『〈観る〉という宿命』だと福田さんは言つていました。一旦手伝つてしまふと堰を切つたように人間関係が壊落すると言われたんですね。

—中央公論新社 レヴィ＝ストロース「悲しき熟帶II」(川田順造訳) より

自分のところでは批判者であり、外では適合主義者であるという民族学者の二つの態度のあいだの対立は、それゆえ、もう一つの、脱け出すのがさらにもずかしい対立を覆い隠しているのである。もしも民族学者が彼の属する社会の体制の改良に貢献しようとするならば、彼が闘っているのと同様の状態が存在するところではどこでも、彼はそれを強制すべきだが、そうすれば彼はその客觀性と公平さを失うことになる。その代り、道徳上の遠巡と学問上の厳密さが彼に強いる超越は、彼自身の社会に対する批判も保留させることになる—彼はすべての社会を知るために、そのどれについても判断しようと欲しないのだから。自分のところで行動すれば他のものを理解することは断念せざるをえず、すべてを理解しようとすれば如何なる変革も諦めなければならない。

# 日々是精進

杉浦俊介

この夏は店を2周間閉めて、行つてみたかったポートランドに行つてきた。主たる目的は勿論コーヒーを飲みに行くこと。  
数年前にspectatorで見て、その後も雑誌とかで目にする機会が増えて、「ミユニティとか、カルチャーとか、コーヒーとか、色々い感じな街」というイメージが膨らんでいた。  
ガイドブックは見ないし持たない。それで、はじめて使うAirbnbの宿の行き方も街の形もわからずから駅員に訪ねたら切符の買い方とおすすめのナビゲーションアプリを教えてくれた。空港は無料のwifiが飛んでいる。iPhoneがあるから街ながら大丈夫だし、最悪、人に聞けると思っていた。電車に乗つて発射するすぐにwifiが切れる。フィンランダはあったのに、勝手に最先端な街に来つてゐりもりだったものの、全然wifi飛んでない。ヨーロッパではお世話になつたスタバも鍵がかかっていてホストに連絡できない。家の前について半ば狼狽していると「Hey!」と窓から男が声をかけてくれた。

名前は忘れたけど元沖縄米軍にいたらしい彼はアニメが好きらしい。なぜか到着早々、日本語レッスンを3時間。そんな感じでポートランド滞在が始まった。

日本を発つ前にCOURIER COFFEEという店を入れ聞き、それで働きたいメールをした。すると、何かできることがあるか探してみると返事をくれた。ところが、やり取りを進めうちにある懸念が生まれた。それは、「」の英語力では働くのは厳しい」というものだ。いきなり申し出でおきながら自分で断るという失礼なことをしてしまつたのにそれも受け入れてくれた。

COURIER COFFEE にはカヌレという焼き菓子がある。甘すぎず、美味しい。カウンターの隅に一台のターンテーブルがあつて、ジョエルがレコードを変えるとお客様が反応して会話を始まつたり、常連同士で出勤前まで話していたり。自分が想像していたような、コーヒーから何かが始まると、もしくは彼らの生活の一部にコーヒーがあるような風景がそこに垣間見えた気がした。誰でも気兼ねすることなく居られる感じはポートランドだからかもしないけど、英語もままならない日本人であつても居心地のいい雰囲気があるのは、ジョエルが日本好きというのがあるかもしない。本当のところはわからないけども、彼の奥さんは日本人だし、Hawthorn にある焙煎所を見学した時は楽しそうにミニカーを出して、「頭文字Dを知つてるか?」と聞いてきたし、日本が好きな筈だ。

そうそう、焙煎所を見学させて貰つたのだ。ある日Hawthorn にある焙煎してのところを見たいと言つて見学させて貰つた。集合時間は朝6時。この時はたまたま泊まつてたゲストハウスから徒歩15分程度で助かつた。道中にあるスーパーの前を何度も朝通つたけど、だなのかもしない。そこで、ローカルビジネス

が個人商店と同義だと勘違いしていたことも気づいた。

COURIER COFFEE にはカヌレという焼き菓子がある。甘すぎず、美味しい。カウンターの隅に一台のターンテーブルがあつて、ジョエルがレコードを変えるとお客様が反応して会話が始まつたり、常連同士で出勤前まで話していたり。自分が想像していたような、コーヒーから何かが始まると、もしくは彼らの生活の一部にコーヒーがあるような風景がそこに垣間見えた気がした。誰でも気兼ねすることなく居られる感じはポートランドだからかもしないけど、英語もままならない日本人であつても居心地のいい雰囲気があるのは、ジョエルが日本好きというのがあるかもしない。本当のところはわからないけども、彼の奥さんは日本人だし、Hawthorn にある焙煎所を見学した時は楽しそうにミニカーを出して、「頭文字Dを知つてるか?」と聞いてきたし、日本が好きな筈だ。

ラントは近年人気が出たせいで地価は上が  
り、ホームレスが他からやってきて増加、ヤ  
ク中は大麻が合法で安いからなのかわから  
ないけど、ホームレスに混じって寝ている  
のを見かける。でも基本的には安全な街だ。  
話を戻すと、こじんまりとした白い小屋につく  
と入り口の所でジョエルがサンプルロースター  
をシャカシャカ言わせて豆を焼いていた。毎朝  
豆の配達に使っている自転車の上にコンロを置  
いて楽しそうに見えた。聞けば最近知り合った  
生豆屋からケニアのサンブルをいくつか貰つた  
からどれを仕入れるか試しに飲んでみよう、と  
いふことだった。

ポートラントの朝は早い。正確には把握してい  
ないけど、確かジョエルの朝は3時にはじまる。  
朝と言えど夏はすぐに暑くなるから、なるべく  
その前に配達を終わらせるといふことだった。

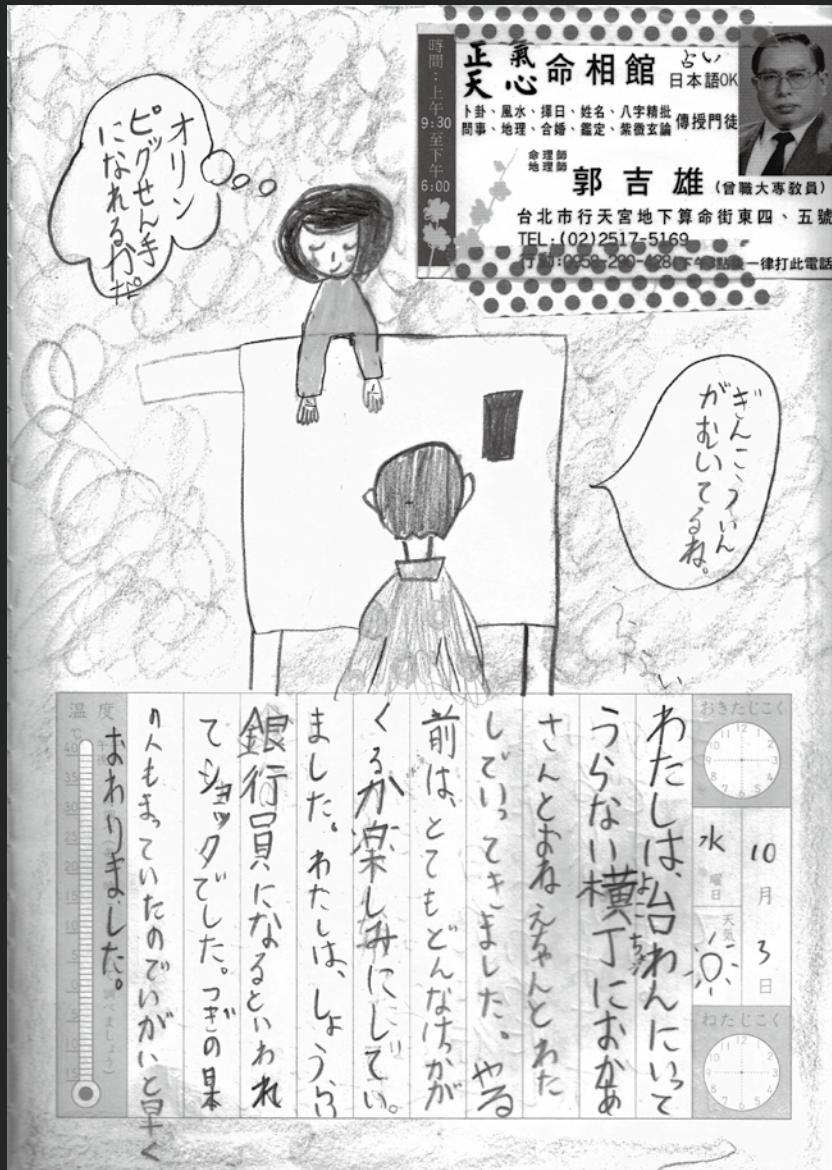
小屋のことを一通り説明してもらったり、焙煎  
のことを聞いたりしうちにサンブルを5つ  
焙煎し終えた。ちょうどその頃にアレックスが  
来た。アレックスはこの焙煎所をシェアしてい  
る Spielman Bagels のロースターだ。前の項で  
通う店リストに入れそびれたけど、「」やらしい。  
好きな生地のベーグルを選び、クリームチーズ  
が山盛りついてきて3ドル。コーヒーをつけて  
5ドル。飲食が高くてポートラント非常に

良心的なところだんだん増えた。アレックスはそんな  
Spielman Bagels のノーヒー豆を焙煎している。  
ここに男が3人揃つたら真のカッピングを  
やってみるか。ということになり、カップを15  
並べ、ジョエルが5種類の豆を3つずつ分け、  
それぞれのカップに入れお湯を注ぐ。紙とペン  
が配られ、香りや味のメモをする。バイアスを  
除くためにどれがどれという情報は伏せてある。  
自分はカッピング慣れしていないのもあり、2番  
の豆しかほぼメモできなかった。結果的に2番  
はピーベリーだったから味が強かったんだろう  
けど、彼らの舌は繊細だった。

その日の午後、ブリジットという女性がインタ  
ビューに来た。特に後に用もないから一緒にい  
させて貰うことにして。彼女のインタビューは  
聞きたいことを自分の代わりに聞いてくれて  
感じがしてお得だった。彼女が日本に来た時に  
は小台を訪ねると言っていたが、どうだろうか。  
誕生日に COURIER COFFEE に訪れた。担当しては  
Japanese style shaved ice だ。夏季の決まりた  
曜日に出します。

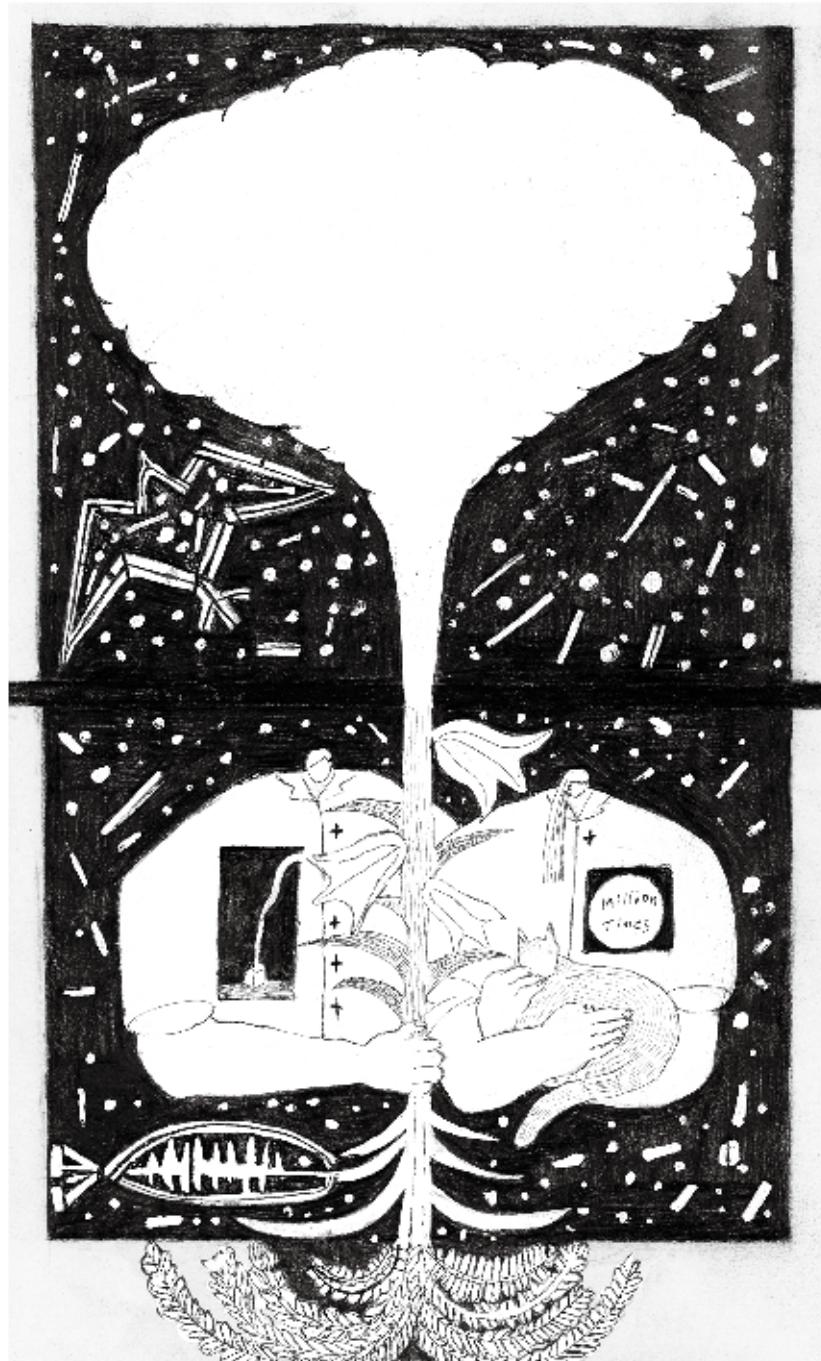
さ」が多い店だ。氷を食べながらサキ「」さんと  
色々と話を聞かせて貰った。ふたりはいつか小  
台に遊びに来てくれるだろうか。  
こうして入づてに偶然出会った COURIER  
COFFEE は理想に近いノーヒー屋だった。  
話はノーヒーに絞つたけども、今回の旅行でお  
世話をなった皆々様方にはこの場を借りてお礼  
を申し上げます。Thank you very much(:)





## 絵日記

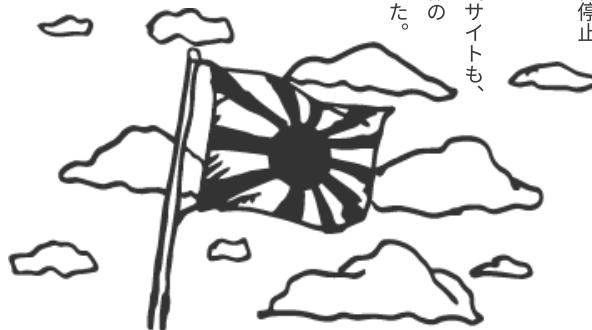
鈴木 レゼ はるひ



[Black and White and Ghosts] 2018  
©kuroki mai

「わかりづらいけど、個人で活動する若いクリエイターに向けて書きました」

吉田 雄大



『アニメ化が決まっていたライトノベル「一度目の人生を異世界で」の原作者が、中国や韓国に対する差別的な発言をしたとして、出版元のホビージャパンは6日、これまでに刊行された計18巻を出荷停止することを決めた。

アニメの公式サイトも、放送及び制作の中止を発表した。

（朝日新聞）

冒頭に載せた記事は今年の6月に起こったニュースです。ニュースのいきさつは、原作者が無名時代にツイッターに投稿したヘイト発言を、ネット民に掘り起こされたことから始まりました。ふたたび晒されたそのヘイト発言はたくさんの批判を呼び、ついに炎上してしまいました。原作者はすぐに謝罪のコメントを投稿しましたが、アニメの声優陣が次々と降板していく（自らの意

僕、吉田雄大は芸術家として活動をしています。僕はよく人から「作品をもっと作れ」とか「絵の練習をしろ」とか「画廊を借りて発表しろ」とか「コネを作れ」とか「収入ゼロなんだから働け」とか「儲金するな」とか言われます。うるせえ、と思います。理由はいろいろあります

が、仮に言われた通りにしたら、その人たちは安心すると思うのです。そして応援すると思うのです。でもそれはちょっと危ない感覚です。完全否定はしませんが、それは古くから伝わる「いいね」のようなシステムで、そのいいね欲しさに溺れていった先輩を数多く見てきた身としては、ここはうるせえで通しておきたいのです。

今回書くのはそんな話です。

この人たちが本当にやらなければいけなかつたのは、問題と向き合うこと。つまり、今一度ヘイトについて考えてみることなのではないでしょうか。例えばブログなどでヘイトについて、今回の作品について考えたことを文章にして発表するとか。とくに原作者はヘイト発言をした本人だからこそ見えてくるものがあるはずです。そういうのが、大人の対応ってもんだと思うのです。

僕はこのニュースで、しばらくモラルというものについて考えました。

より、アニメは中止、出版元も原作の出荷を停止する事態となりました。

モラルはどうやって社会に定着するのか。今回的一件から考えると、はじめの段階では意識の高い人たちによる普及活動の効果が大きいのでしょうか、最終的にそれが定着するかどうかは、そのことについて「関心を持たないその他大勢の人たち」が決定権を持つているのではないでしょうか。「よくわからないけど○○は避けたほうがいいのかな」とか、またはそれすら考えず、とても無意識に選ぶ言動の一つ一つが、そのモラルの強度を高めている。そんなイメージです。今ではボコボコにされているブラック企業とのオプション的な思想（根性論とか見て学べ論とか）はかつて（2010年くらいまで）はモラルとして完全に定着してたと思います。今でも現場ではその風習は残っていますが、当時は（僕の周りでは）学校や家庭でもそれを疑う空気はありませんでした。そんな当時でもおかしいと感じていた人はいたはずです。僕もそうでした。でも反対しようもんなら「それじゃあ社会では生きていけないよ」と言われるだけでした。うん、確かにありました。今よりも強い「夢は諦めるもの」的な空気が。当時は、現状のモラルを「疑わないので其他大勢の人たち」が、無意識に先代のモラルを受け継いでいたのだと思います。まあそれも震災で徐々にぼぐれていったのですが。とにかく、僕が言いたいのは「それじゃ

あ社会では生きていけないよ」はモラルについて考えないことで生まれる地獄だということです。そして、今回の一件はヘイトという新しいモラルに入れ替わっても「それじゃあ社会では生きていけないよ」地獄は受け継がれているのだと感じました。

ここ数年で僕たちの生活はたしかに変わってきたと感じます。以前よりも職業を自由に選びやすくなったり、昔は少数派とされていたような考え方、ツイッターなどで発言しやすくなりましたが、同時にネットで叩かれやすくなりましたが、叩かれるのは権利や尊厳をおびやかすものがほとんどなので、全体的には社会は良くなつた、よう見えます。

でも実際は社会が良くなつたのではなく、モラルが入れ替わっただけ。つまり、無関心な人たちが作り出す社会にかわりないです。ではどうすればいいのか、まずは僕たち1人1人がモラルに関心を持つこと、そしてモラルを疑うことが大切だと思います。

1つはヘイトなどの、超えてはいけないレッドゾーンを超えると、ツイッターで怒つてくるタイプの、ネガティブなものを排除しようとするモラル。もう1つは「共感＝素晴らしい」とか「頑張っている人＝かっこいい」的な、ツイッターや怒つてこないタイプの、ポジティブなものを育もうとするモラルです。最初の自己紹介？で触れた、僕に怒つてくる人は後者のモラリストです（直接会うと怒つくることがあります）。怒られるといつい「そうですね。頑張らないといけませんね！」と爽やかに答えてしまいかちですが、その人はまだ社会のモラルを代弁して僕に押し付けようとしているだけ。寂しい人なのです。ならば不毛な伝言ゲームは僕の代で止めなければいけません。

そんな、うるせえ、でもあるのです。



旬

クララ

## ホクホク系

### 「紅あずま」

革の色は少し紫がかつた恋赤色で、果肉の色が黄色く粉質で、繊維質が少なく、見したり約とホクホクとネットリの中間タイプ。同度ですが、生の状態で約14度。加熱後、約32度に!!!

### 「高系14号」

果皮の色は赤みが強く、やや厚みがあり、果肉は生の状態ではクリーム色をしていて粉質です。糖度が高く、約ナド兼ねるつると黄色くホクホクとして甘い芋に仕上がる。ただし、収穫して十分寝かせたものでなければ甘みは期待できないので注意!!

### しつとり系

#### 「安納芋」

皮が紅紫で、水分が多く粘質で、焼くとまるでクリームのようになットリしつとりした食感になります。また、生の状態で糖度が16度前後と非常に高く、じっくりと時間をかけて焼く事により、糖度が40度前後にもなる芋です。

### 「紅はるか」

外観が優れている「九州121号」に、皮色や食味が優れている「春こがね」を交配させ育成されたさつまいもで、2010年に品種登録された比較的新しい品種です。安納芋より、「はるかに甘い」ということから、「紅はるか」となったのだとか。紅はるかは甘くなるように品種改良されたのでもうです。

## さつまいも

日本には四季があります。季節ごとに貯め頃を迎える食材があり、それらを「旬のもの」と呼ぶそうです。旬の食べ物は安価で、新鮮で、栄養価も高く、その時期に起こりやすい体調不良をカバーする効能が期待できる成分が多く含まれています。昨今、食材は通年出回り旬がわかりにくくなつてきましたが、季節ごとの食材「旬のもの」を知り、料理に上手に取り入れながら自然の恵みをしつかり受け、四季の変化を楽しみましょう!

## My 旬 MUSIC

sighboat  
- marvel

Robert Wyatt  
- Rock Bottom

Billie Holiday  
- Strange Fruit

調理方法は色々とみつけてみて下さい!!!

※ 濡れ気を避け温度に注意!!!  
・ 20度～30度だと芽が出てきてしまう

- ・ 泥付きのまま新聞紙にくるむ
- ・ 濡らしたり湿気をもたさないよう
- ・ 保存首頭は13度～20度が理想
- ・ 10度～5度より下がつてくると、低温障害を起こし腐ってしまう
- ・ 20度～30度だと芽が出てきてしまう
- ・ 濡れ気を避け温度に注意!!!

ちろん甘いのですが、それなのに後味がスッキリしているそうです。糖度ですが、大体生芋の状態で40度前後。焼き芋にすると50～60度!!!

## 橋の渡りかた

お店に入ったら、値段を気にしないで  
好きなように注文してみましょう。

お手紙を書きましょう。

会計のときに自分が得た効用と支払う  
費用の誤差が少ないお店は通いたくな  
るかもしれません。

私たちにはテクノロジーを使うことがで  
きますが、テクノロジーのためにこれ  
までの生活を置き換える必要はないの  
かも知れません。

私はテクノロジーを使うことがで  
きますが、テクノロジーのためにこれ  
までの生活を置き換える必要はないの  
かも知れません。

洗濯物は晴れた日に干しましょう。

干したいけみたいに、洗濯物の旨味

成分が増えるかもしれません。

天日干ししたお布団からはいい匂いが  
して気持ちよく眠れます。

ふと「あそこに行きたい」と思ったと  
きには迷わず行ってみましょう。

それはきっと、「あそこ」があなたを

呼んでいます。時間の隙間を見つけて  
「あそこ」に行けば歓迎してくれるは  
ずです。

ジャムの使い道を考えてみましょう。

パンに塗る以外にも楽しむ方法は沢山  
あります。あなたなりのジャムと何か  
の組み合わせがあれば、お友達に知ら  
せてあげましょう。

料理の作り置きの知識を実践しながら  
蓄えておきましょう。  
毎日の食事の支度が早く終わります。  
少しずつ覚えて行けば大丈夫です。



# おぎぬまXの4コマバトル道場

～ブリュッケ支店～第三戦

道場破り

師範代

お題『幽霊』

おぎぬまX



V  
S



押忍!! 4コマバトル道場の師範代・おぎぬまXッス!!  
『幽霊』がテーマの4コマを描いたら、このページを写真に撮って  
Twitterの『@oginuma\_x』にDMを送ろうッス!! 挑戦者求む!!

# 橋のたもとから

店をはじめて早いもので5年になろうとしています。5年がどのくらいの期間というと、生まれた子どもが5歳になります。小学一年生は六年生になります。そのくらい長い期間なはずですが、まだまだ何もできないなあという気分です。みなさんはこの5年間を振り返ってみて、5年前には想像していなかつた変化はどこかにありますでしょうか？

「ある」と思ったあなた、おめでとうございます。

何もできないといいながら5年前には想像していなかつた変化というものは考えてみれば幾つもあります。「ない」と思った方もよく思い出してみましょう。私ができていないのは、単に生活だけなのかもしません。

ここで発表できることがあるといいのですが、残念ながら発表に至る進捗がなかつたため次号に譲るとします。

今年も残すところあと二ヶ月ちょっとです。大きな災害は年々増えているようですが、この夏はフランス語も通えなくなつたりしたので、またちゃんとフランス語をやりたいところです。どなたか一緒に勉強しましょう。毎週何曜日とかにしてできないものか。それはさておき、コーヒー豆の配達を始めたいと思います。もしも沢山注文がきたら管理どうしようなど皮算用的な心配をしていたりもしますが、よかつたらお願ひいたします。

店のイベントも定期的に行われる企画が増えときました。予定はHPで確認できます。[odeibrucke.org](http://odeibrucke.org)を見てみてください。オダマガバッケンバーも読めます。寄稿してみたい方はメールなどでお送りください。お待ちしています。

「こんな顔」 in 小台

玉坂めぐる

「足立のクマちゃん」です。このあたりの側溝の蓋には、ときどき足立区章がポンとついていてクマっぽくなっています。



足立区のシンボルマーク付きのもあります。「足立のアヒルちゃん」にしておきます。



この冊子はいろいろな人のいろいろな文章などからできています。

どなたでも寄稿できます。

いろいろなことは生活そのものです。

身近なこともそうでないことも頭の隅に居座って、

いつの日か何かしらの手引となるかもしれません。

思い立ったときには、寄稿してみてください。

小台マガジン 21

2018 年 10 月

編集 ブリュッケ

印刷 プリントパック



おぎぬま X	(マンガ家)	@oginuma_x
クララ	(ベコ飼いたい何でも屋)	
栗原 諭	(店主のパイセン)	
黒木 麻衣	(イラストレーター)	@black_treee
斎藤 邦彦	(ドキュメンタリー映画部)	@chaitokunihiko
サトウテッペイ	(週末イラストレーター)	@bone_tep
鈴木 レゼ はるひ	(小学生)	
ダン	(会社員)	@aeTe13
玉坂 めぐる	(「顔に見えるもの」の収集家)	@tamasakameguru
DJ 半額	(ひみつ)	
中村 安伸	(俳人)	@yasnakam
山本 千晶	(potatopotato)	@potatopotato_mo
吉田 雄大	(芸術家)	@yoshida_yudai
杉浦 俊介	(店主)	@odaibrucke

B R Ü C K E

[odaibrucke.org](http://odaibrucke.org)